

# 漁業士認定事業

中村勇次・瀬底正武

## 1. 漁業士認定及び審査状況

漁業士制度は、地域漁業振興の中核的漁業者を育成する目的で、昭和61年度から全国一斉にスタートしております。本県も昭和61年度には6名の漁業士が認定され、これまで60名余の漁業士が誕生しましたが、病気や転職等によ

り平成15年7月1日現在で42名と減少しております。その内訳は、名誉指導漁業士4名、指導漁業士27名、青年漁業士11名であります。

平成15年度は、12月15日に開かれた「沖縄県漁業士認定審査会」で正式に沖縄県漁業士として、2名の青年漁業士が認定されました。

## 2. 平成15年度認定漁業士（年齢は認定当時）

漁業士区分	氏名	年齢	所属漁協	漁業種類
青年漁業士	金城 勇	34才	伊江漁協	底延縄・ソデイカ漁業
青年漁業士	大城 重光	32才	伊江漁協	底延縄・ソデイカ漁業

## 3. 平成15年度認定漁業士紹介

漁業士の平成15年度授与式が「第9回沖縄県青壮年・女性漁業者交換大会」の席上で行われました。今年度は伊江漁協から金城勇氏、同漁協大城重光氏がそれぞれ沖縄県漁業士として認定されました。

2氏のプロフィールを紹介します。

### ★青年漁業士 金城 勇

伊江漁業協同組合の金城勇さんを紹介します。金城さんは昭和43年生まれの34才であります。金城さんは平成5年に組合員となりこれまで、父金城文男さんの元で底延縄漁業を中心に漁業技術を習得し、経営の安定と拡大を図ってきました。平成10年度からソデイカ漁業を取り入れた着業の組み合わせにより、より安定した経営を確立され、平成9年度から12年度にかけて、二人乗り部門で、「優良漁獲社表彰」を受けております。さらに、組合加入と同時に伊江漁協青壮年部に加入し、部の役員を務めると共に、県漁青連の役員を務めた後、平成11年度から12年度まで伊江漁協青壮年部部长に就任され

ております。その後も、青壮年部のリーダーとして後輩の指導や後継者育成に積極的に取り組んでおります。

### ★青年漁業士 大城 重光

伊江漁業協同組合の大城重光さんを紹介します。大城さんは昭和46生まれの32才であります。大城さんは、父重行さんの元で漁業に従事したい一心で高校を中退し、平成元年組合員となり父と共に6月から11月までは底延縄漁業に専念し、12月から5月まではソデイカ漁業へ転換する等着業の組み合わせにより、経営の安定が図られ平成8年度には二人乗り部門で「優良漁獲表彰」を受けております。さらに、組合加入と同時に伊江漁協青壮年部に加入し、会計・書記等努めた後、平成13年から平成14年度まで青壮年部部长に就任されております。今後も底延縄漁業とソデイカ漁業を組み合わせで安定経営を維持しながら、青壮年部活動等後輩の指導にも積極的に取り組んでいきたいという決意があり、今後の活動が期待されております。